

# 支部保険者機能強化予算について (第1回)



全国健康保険協会 佐賀支部

協会けんぽ

# 令和2年度 支部保険者機能強化予算について

## 令和2年度 支部保険者機能強化予算についての論点

### 【令和元年度の状況】

令和元年度の佐賀支部の保険者機能強化の予算について（概要）

#### ✓ GE医薬品の使用促進関係

※ 調剤薬局に具体的な医薬品の置き換えの提案等を個別に行う通知事業を9月から実施予定。

#### ✓ 広報関係

※ 加入者の受診行動や医療費の関係性およびインセンティブ制度を周知や意見発信について、加入者の受診行動の変容を促すため、加入者などの理解度のための広報を行う予定。

#### ✓ 保険事業関係

※ データヘルス計画に基づき、健診・保健指導・コラボヘルス・予防の観点で事業を実施。

# 令和2年度 支部保険者機能強化予算に関する論点

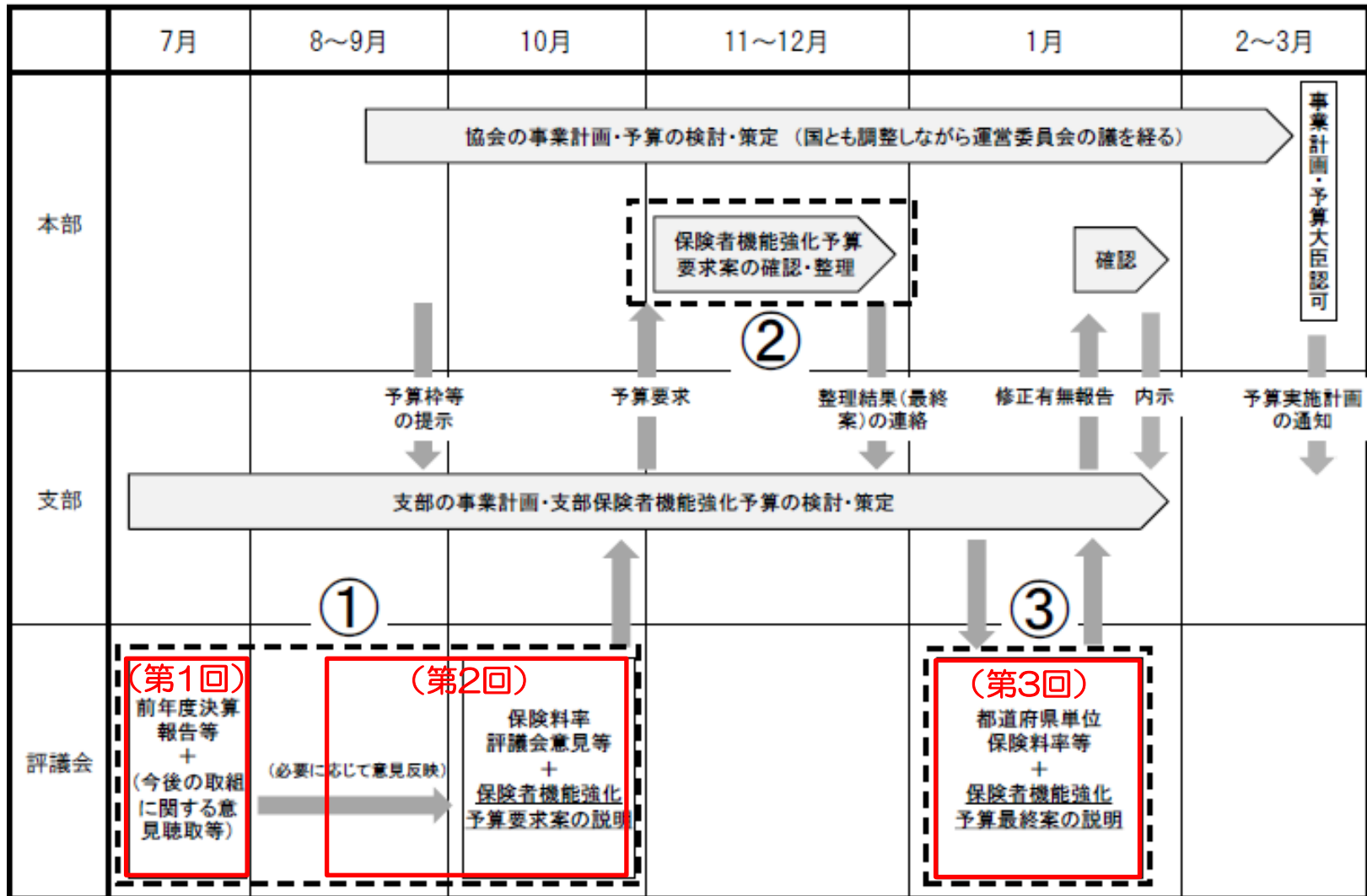
## 【論点】

来年度の保険者機能強化の対策として、どのようなものを支部の事業として検討すべきか。

- ・ 加入者・事業主・医療関係者等に対して実施すること。
  - ・ 佐賀支部の状況を鑑み、目的・そして得られる効果が見込めるもの。
- ① 保険者機能強化の**短期的対策**として、どのような事業を行っていくか。
    - ・ GE医薬品・・・国の目標80%達成の最終年（令和2年）として、どのように考えるか。
  - ② 保険者機能強化の**中長期的対策**として、どのような事業を行っていくか。
    - ・ 健診・健康経営・健康づくり・加入者の受診行動の変容へ対策をどのように充実させていくか。
  - ③ 広報・意見発信について、どのような対策を行っていくか。
    - ・ 「医療費・保険料率の現状・健康経営・健診受診」などをテーマに有料広告などを行ってきた。  
前回評議会で、加入者や事業所などターゲットを分けたアピール方法や健康な者へのアプローチなど様々な意見をいただいた。  
来年度は、ターゲットを分けた周知・広報・意見発信を行っていくことについてどのような手法が有効か。

# 2020年度 支部保険者機能強化予算<スケジュール>

支部保険者機能強化予算の評議会との関係（標準的なプロセスの例）



# 支部保険者機能強化予算（支部予算の見直し） <支部予算の概要>

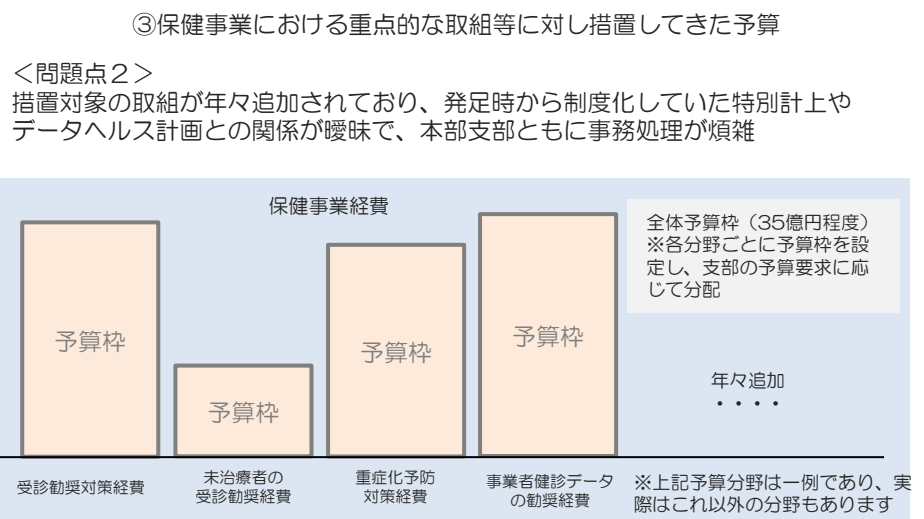
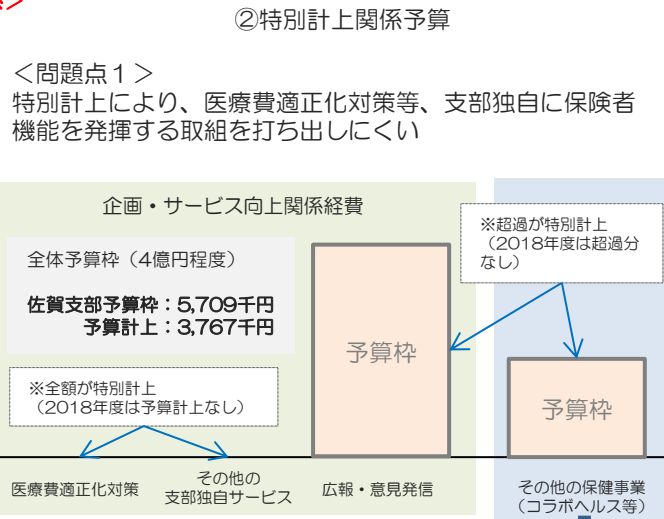
平成30年度第5回佐賀支部評議会資料2-2

- 支部へ措置されていた『特別計上関係予算』を見直し、2019年度から『支部医療費適正化等予算』へ変更。
- 保健事業の重点的な取組等（健診受診勧奨対策、データヘルス計画）に係る予算を、2019年度から他の保健事業予算へ一本化。（『支部保健事業予算』）

～2018年度		2019年度～ 『支部保険者機能強化予算』	
特別計上関係 予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>支部独自の広報、意見発信、医療費適正化対策</li> <li>取組分野毎に一定枠</li> <li>枠超過分が都道府県別保険料率算定時に加算</li> </ul> <p>リスク⇒保険者機能の推進に積極的な支部ほど都道府県単位保険料率が上昇する</p> <p>➤ 2018年度上限：570万円</p>	支部医療費 適正化等予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算の上限を設け、予算の範囲内で実施</li> <li>取組分野毎の配分は支部の裁量で設定</li> <li>都道府県別保険料率の加算を廃止</li> </ul> <p>➤ 2019年度上限：<b>999万円</b></p>
保健事業に おける重点的 な取組等	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診勧奨対策、データヘルス計画</li> <li>⇒措置対象が年々追加、事務処理が煩雑化</li> </ul> <p>➤ 2018年度上限：583万円</p>	支部保健事業 予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>重点的な取組等以外の保健事業と一本化</li> <li>取組分野毎の予算配分は支部の裁量で設定</li> </ul> <p>➤ 2019年度上限<b>3,020万円</b></p>

# 佐賀支部保険者機能強化予算<イメージ>

## <2018年度までの予算体系>



■支部事務室賃料や審査医師への謝金など、支部の基本的な業務運営に必要な予算

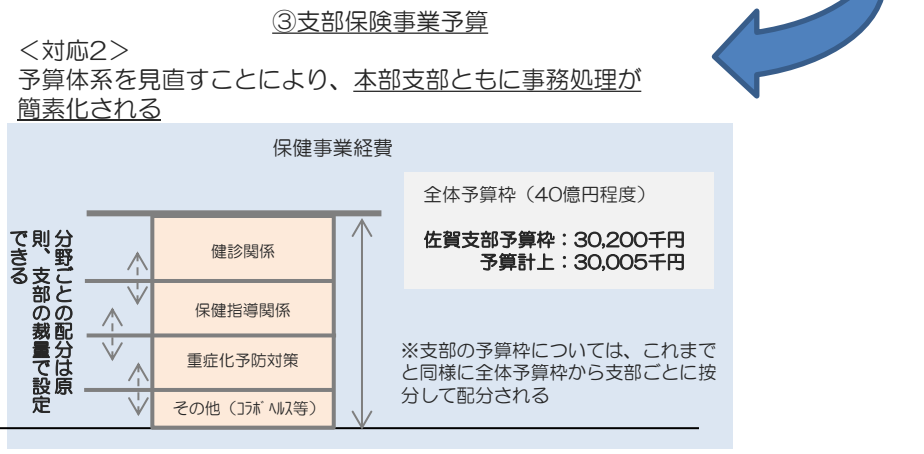
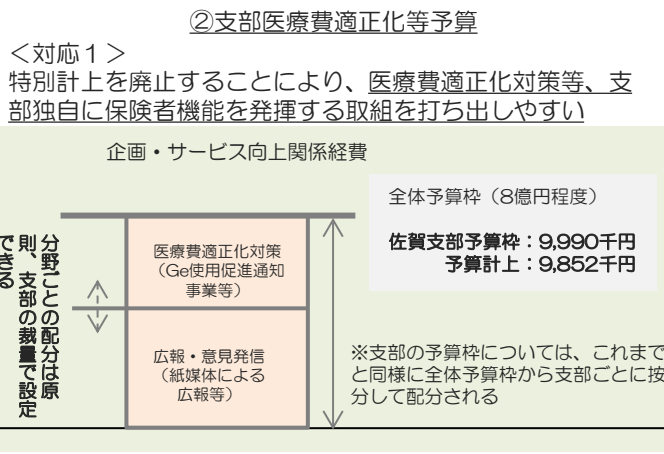
■医療費適正化対策や広報・意見発信など、地域の実情等を踏まえた取り組みを推進するために必要な予算

2019年度からは「支部保健事業予算で計上」

■受診勧奨対策や重症化予防対策など、保健事業における重点的な取り組みを推進するために必要な予算

## 支部保険者機能強化予算

## <2019年度からの予算体系>



## 2019年度 佐賀支部の支部保険者機能強化予算&lt;医療費適正化等予算&gt;

平成30年度第5回佐賀支部評議会資料2-2

分野	所属G	取組名	概要	経費(円)
医療費適正化対策	企画	調剤レセプトデータを活用した調剤薬局へのジェネリック医薬品使用促進通知事業	県内の調剤薬局に対して、ジェネリック医薬品使用割合が目標に到達するため、具体的な医薬品の置き換えについての提案等を個別に行う<医療費適正化、インセンティブ指標>	4,500,000
	業務	保険証未返納者への電話催告業務委託	文書による催告と併せて電話が繋がりやすい夜間や休日等の時間帯の電話催告業務を外注によりルーチン化し、早期且つ効果的な回収を実施する<債権発生の抑止>	418,560
	業務	健康保険被扶養者状況リストの未提出事業所への提出勧奨業務委託	文書勧奨と併せて電話勧奨業務を外注し、リストの提出率アップを図る<高齢者医療制度への納付金削減、医療機関への適正受診>	528,000
	レセ	第三者行為による傷病届の届出催告業務委託事業	弁護士名を活用した届出催告通知を行い傷病届の提出率アップを図る<損害賠償金の保全、債権回収額増による収入増→支部保険料率の減>	546,000
広報・意見発信	企画	紙媒体による広報(定期的に事業所へ送付するチラシ等)	納入告知書へ同封するチラシ作成	1,131,000
	企画	心の健康づくりフォーラム	県等が主催するフォーラムに共催で参加	55,000
	企画	加入者の理解度向上のための広報	加入者の受診行動と医療費の関係性やインセンティブ制度を周知と併せて意見発信することで加入者の受診行動の変容を促す	2,672,250

計：9,852,000円

\*分野毎に1,000円未満切り上げ



## 2019年度 佐賀支部の支部保険者機能強化予算&lt;支部保健事業予算-①&gt;

平成30年度第5回佐賀支部評議会資料2-2

分野	区分	取組名	概要	経費(円)
健診関連		事業者健診HbA1c追加検査費	事業者健診データとして取り込むため事業者健診時にHbA1cを実施した場合の費用負担	252,000
保健指導委託		中間評価時の血液検査費	特定保健指導委託機関が数値評価するために血液検査を実施した場合の費用負担	393,000
健診及び保健指導に係る事務		保健指導用データ送料、パンフレット作成費、図書購入費等	保健師等への資料送付費用、保健指導用パンフレット作成費用等	809,000
	集団健診	支部主催の集団健診の実施	①夏季に支部主催の集団健診の実施 ②閑散期に支部主催の集団健診の実施 ③コンビニエンス等を活用した特定健診の実施 ④子育てイベント会場での特定健診の実施 ⑤市町と協力した特定健診強化に係る集団健診の実施	2,817,000
	事業者健診の結果データの取得	外部委託による事業者健診データ取得勧奨	外部委託による事業者健診データ取得勧奨(DM、電話、訪問)	2,920,000
	健診推進経費	生活習慣病予防健診	健診実施機関の過去の実績等を踏まえ、実施機関ごとに目標値を設定し、目標値を超えた数に対してインセンティブを支払う	10,659,000
		事業者健診(同意書の取得)		108,000
	健診受診勧奨等経費	新規加入者への健診案内の送付	任意継続者、新規認定被扶養者へ対して健診案内を送付	438,048
		生活習慣病予防健診、特定健診案内チラシの作成	送付書、チラシ、記入例等の作成	2,093,300
	保健指導利用勧奨経費	特定保健指導受け入れ拒否事業所への受入勧奨業務	一定規模以上の事業所で特定保健指導の受入を拒否している事業所に対して、受入勧奨業務を委託にて実施	990,000



## 2019年度 支部保険者機能強化予算整理結果&lt;支部保健事業予算-②&gt;

平成30年度第5回佐賀支部評議会資料2-2

分野	区分	取組名	概要	経費(円)
その他保健事業		保健事業計画アドバイザー経費	データヘルス計画に関するアドバイザーを選任	252,000
		保健師等募集広告経費(支部)	募集に係る有料広告の際の費用	50,000
	コラボヘルス事業	健康企業宣言推進事業	・量の拡大: 広報活動の推進(宣言事業パンフレット一式作成、認定作業に向けた準備、認定証+ポスター作成) ・質の向上: 健康宣言事業所のフォロー体制の在り方検討	1,603,000
		未治療者受診勧奨	要治療域の健診受診者に対する医療機関受診勧奨を電話(委託)及び文書にて実施	3,021,000
		重症化予防対策	・治療中の被保険者に対し、佐賀県糖尿病性腎症重症化予防プログラムを基本とする「健康支援プログラム」実施 ・事業主へ受診勧奨協力依頼文書、啓発文書送付	2,462,000
		運動に対する意識(問診項目追加)によって対象者をセグメント化し、セグメント毎のアプローチ方法検討	希望者+特定保健指導対象者に対し、問診票に運動に対する行動変容ステージが判定できるような項目を追加し、行動変容ステージ毎の介入方法に沿ってフォローを実施、検証	286,200
	その他の保健事業	年度年齢39歳の被扶養者へのアプローチ	次年度から特定健診対象者となる被扶養者のうち、希望者へ対して簡易血液検査を実施、次年度からの特定健診の受診促進につなげる。	502,945
		「さが桜マラソン」への参加	佐賀県等主催の「さが桜マラソン」へブースを出展し、支部広報及び保健師による健康相談等を実施	116,600
		「がん征圧県民のつどい」への参加	リレ・フォー・ライフ・ジャパンが展開するがん征圧イベントへブース出展し、健康度測定及び保健師による健康相談等を実施	114,480
		「ばぶばぶフェスタ」への参加	「ばぶばぶフェスタ」会場にて特定健診を実施(健康度測定)	116,600

計：30,005,000円